



古代北野麿寺跡から出土した軒丸瓦
[京都市考古資料館所蔵]



古代出雲寺跡で採集された軒丸瓦



古代北白川麿寺跡から出土した軒丸瓦
[京都市考古資料館所蔵]

男出雲、右米食黒子
歳、小子

第23回ハリス理化学館同志社ギャラリー企画展

平安遷都前 の京都盆地

—飛鳥・奈良時代のムラと寺—

2021.

10/22[金] → 12/5[日]

10:00~17:00(入館は16:30まで) 月曜日休館

会場:ハリス理化学館同志社ギャラリー

京都市上京区今出川通鳥丸東入ル
京都市営地下鉄「今出川」駅下車徒歩5分・同志社大学今出川キャンパス内

主催:同志社大学歴史資料館



古代北野麿寺跡から出土した塑像仏頭片
[京都市考古資料館所蔵]



山城国愛宕郡出雲郷の奈良時代建物跡から出土した土師器
[同志社大学歴史資料館所蔵]

出雲臣孫麻呂、年貳歳、死、神龜三年五月廿一日、右人、帳後破除、

出雲部美都岐売、
年貳拾玖歳、
丁女 右頬黒子

戸主出雲臣嶋麻呂、年肆拾捌歳、
右頬黒徒伍位下大生部直美
庶母出雲臣玉虫売、年肆拾肆歳、

古代

出雲郷



北白川廃寺出土軒平瓦(左)[京都市考古資料館所蔵]と近接する小倉別当町遺跡から出土した無文銀銭(右)[京都市指定有形文化財]

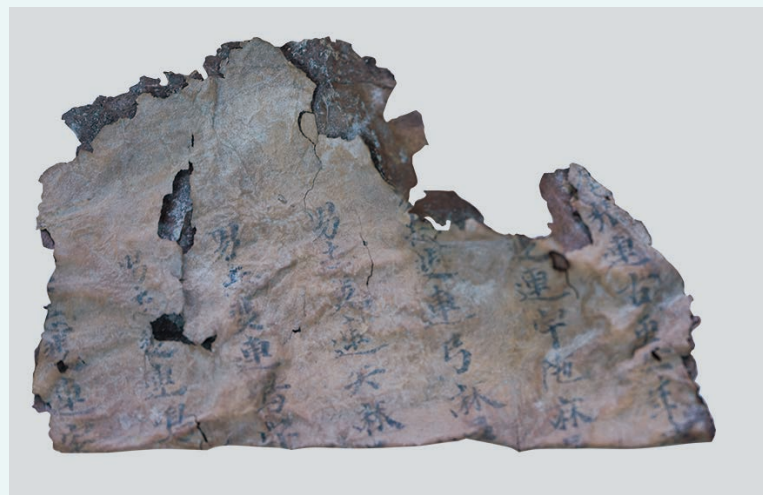
同志社大学歴史資料館が行ってきた今出川キャンパス内の発掘調査においては、平安京造営以前の飛鳥～奈良時代の遺構や遺物が出土しています。近年の発掘調査では、この時期の竪穴住居跡や大溝がみつき、土器群とともに鉄器生産にかかわる遺物も出土しています。奈良時代のこの地点は、正倉院文書『山背国愛宕郡出雲郷雲下里計帳』に載る人々が暮らした地域で古代出雲郷と考えられています。近隣からは古代出雲寺の古瓦が出土していて、一つの郷にムラと寺があったとわかります。

さらに東方の鴨川東岸では北白川廃寺の遺構群と近隣の集落跡、西方の北野地域でも古代寺院と集落遺跡のまとまりが見つかっています。また嵯峨野～桂川流域にも同様の古代寺院と集落のまとまりが知られているのです。飛鳥・奈良時代のムラ・寺の群の中央に8世紀末になって平安京は築かれたのです。

今回の企画展は、本学出土の7-8世紀遺物群とともに、同時代の京都盆地の出土品を併せて展示します。それにより、平安京遷都前の景観を考古遺物から感じていただければと思います。



相国寺境内の飛鳥～奈良時代集落跡から出土したファイゴ羽口(左)[京都市考古資料館所蔵]と鉄滓(右)[同志社大学歴史資料館所蔵]
古代出雲郷の村では鉄器生産などの手工業生産を行っていた



桂川右岸の羽束師遺跡出土漆紙文書[京都市考古資料館所蔵]
平安遷都直前の長岡京域でみつかった行政文書片



京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩5分

ハリス理化学館同志社ギャラリー

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入ル
同志社大学今出川キャンパス ハリス理化学館
tel:075-251-2716 URL: <http://harris.doshisha.ac.jp>
連絡先: 同志社大学歴史資料館 tel:0774-65-7255